

ドイツの大学図書館における オープンアクセス支援

九州大学附属図書館 利用者サービス課 学術サポート室
星子奈美

2025年5月13日 COAR Annual Conference 2025



[Creative Commons Attribution 4.0 International](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)

視察の概要

- ・出張目的：
APC支援やダイヤモンドOAを積極的に推進するドイツの大学において、OA支援における戦略とゴール設定に関する情報収集を行うこと
- ・出張期間：2025年3月4日～2025年3月12日
- ・出張者：
 - ・九州大学データ駆動イノベーション推進本部 石田 栄美 教授
 - ・九州大学附属図書館 職員3名（星子、工藤、西）
 - ・九州大学企画部企画課 職員1名（大野）

視察対象の大学図書館

① 3/5 ミュンヘン工科大学(TUM)

工科大学連合「TU9」でトップクラス, THE世界ランク26位

② 3/6 ミュンヘン大学(LMU)

1472年設立の総合大学, THE世界ランク38位

③ 3/7 ドレスデン工科大学(TUD)

TU9のメンバー、ザクセン州立図書館を兼ねる

④ 3/10 ベルリン自由大学(FU Berlin)

ベルリン大学が東ベルリンでソ連の統制下に入ったため
西ベルリンに「自由」の理念を掲げて設立



ドイツの大学図書館を取り巻く環境

- 連邦制のため、教育・文化は各州が管轄
- 大学の予算は州から配分、教職員も州が雇用
 - 大学の財政状況が州の財政状況に左右される
南ドイツは（自動車やビール産業で）予算が潤沢な傾向
- 研究助成機関がOAを推奨するケースが増加（義務ではない）
- 二次出版権 (Secondary Publication Right) の保護
 - 2014年著作権法改正
- 大学教員のポストが少ない
 - Habilitation（大学教授資格）制度のため、研究職への道が厳しい
 - 研究職への就職がなく図書館職員になった人も多い

各大学図書館のOA支援体制

- ① TUM: 受入・目録部門にOAチーム4名（3名は兼務）、研究データサービス部門にData Stewards、マネジメント部門内にUniversity Press
- ② LMU: 中央図書館と学部図書館の二層構造。OA支援は主に中央図書館
OA:5, University Thesis:2, Repository:1, Media Design: 1, Digitization:1, Bibliometrics: 1
- ③ TUD: 研究・出版支援をコレクション構築部門と利用・情報部門が担当。Scientific Librarianがリーダー的役割を担う
- ④ FU Berlin: 学部図書館を統合し中央集権化を推進。研究・出版支援やRDMのチームを新設。Liaison librarianによるRDMサポート

主なOA支援策(1) – 転換契約

- Projekt DEAL...Elsevier, Springer Nature, Wiley
 - ドイツ国内の95%以上の機関が参加
- DEAL以外のコンソーシアム...TIB、ZB MED等

(参考) ESAC Transformative Agreement Registry

<https://esac-initiative.org/about/transformative-agreements/agreement-registry/>

主なOA支援策(1) – 転換契約 課題など

- 契約費用が増加傾向にあり、資金捻出が大きな課題
- 大学、学部、大学図書館、大学病院間での費用分担や予算交渉が必要
- 学内に分散したOA関連の支出情報の全体把握が困難
- 導入時は、Bibliometricsでの分析も

主なOA支援策(2) – 出版基金

- Open Access Publication Funding
 - ドイツ研究振興協会(DFG)による資金援助プログラム
 - DEAL契約対象外のフルOAジャーナル論文等に対し、APCの一部または全額を助成
 - モノグラフに対する支援もあり
 - DFGから配分された資金をもとに、各大学で研究者に助成
 - LMU...DFGの資金援助を受けた論文 €1,400, その他 €700／モノグラフ €5,000
 - TUM...1論文あたり €1,000／書籍出版はUniversity Pressで支援
 - TUD...論文上限なし／モノグラフ 年間 €15,000, 1冊あたり €5,000
 - FU Berlin...1論文あたり €2,000／書籍 €5,000

主なOA支援策(3) – 機関リポジトリ

- Secondary Publication Right の行使手段
- 各大学の機関リポジトリ
 - LMU データの種類に応じ、複数のリポジトリを運用
 - TUM mediaTUM
 - TUD Qucosa
 - FU Berlin Refubium
- DeepGreen 出版物を各機関のリポジトリに自動転送
15 出版社の記事を 85 の機関リポジトリと 6 つの主題別リポジトリに配信
<https://info.oa-deepgreen.de/en/supporters/>

主なOA支援策(4) – OA出版支援

- OAジャーナル・書籍の創刊・刊行を支援
- Open Journal Systems(OJS)の利用
- 各大学のOA出版支援
 - LMU Open Journals LMU OJSによるジャーナル出版
Open Publishing LMU 紙・電子同時出版
 - TUM TUM.University Pressとしてジャーナル・書籍出版に対応
 - TUD Publia ジャーナル刊行支援（セットアップ、インデクシング、DOI/ISSN付与、CCライセンス選択サポート、剽窃チェックソフトへのアクセス）
 - FU Berlin BerlinUP Berlin University Allianceによる共同運用

主なOA支援策 (5) – 人的サポート

- コンサルテーション、トレーニングの提供
 - 特にRDMに関するトレーニングは、対象者に応じて複数提供されている
- OA出版に関する問い合わせ対応
- 著作権処理、ライセンス選択に関する助言
- Bibliometricsサービス
 - 科学者や事務職員を対象とする分析、情報提供
- Open Access Tage
 - ドイツ語圏のオープンアクセス・オープンサイエンス担当者による年次ミーティング
- TU9のOAコーディネーターは、2週間に1回オンラインミーティングを開催

ダイヤモンドOAの推進

- [KOALA](#)(TUD)
 - OAジャーナル・ブックシリーズのクラウドファンディング型資金調達モデル
 - 商業出版社に対抗し、公平・透明・持続可能な資金調達を目指す
 - ジャーナルを主題別にバンドル化して提供
- [SeDOA](#) (ダルムシュタット大学図書館ほか)
 - ダイヤモンドOAのサービスステーションを構築するプロジェクト
 - ジャーナルだけでなく、あらゆる種類のメディアを対象
 - 稼働すれば、University Pressなどが恩恵を受ける可能性

研究データ管理

- TUM Data Tagger (TUM)
 - 2025年4月リリース
 - 研究データを集中管理できるウェブベースのプラットフォーム
 - データのアップロード、構造化、バージョン管理、共有、メタデータによる注釈付け
- Data Steward (TUMの事例)
 - TUMの資金50% : 外部資金50%でスタッフを雇用 (トレーニングあり)
 - プロジェクト内のデータ管理実務、研究者向けサポートを担当
 - 多様な研究バックグラウンドを持つスタッフが活動

日本への適用

Gold OA

- ・ 転換契約は契約費用の増加によりいつかは限界が来る
- ・ 研究助成機関によるOA出版資金援助
- ・ 研究者のAPC負担スキームをシンプルに

Green OA

- ・ 二次出版権を認める著作権法改正

Diamond OA

- ・ 紀要の機関リポジトリ登録促進
- ・ 雑誌・論文ベースの指標に偏重しない研究評価の枠組み

報告は以上です
ありがとうございました

